

テーマを設定し実施している事例

# 事例集

## 自治体名：中川町

事業名称 中川町健康ポイント事業（H30年度開始）

### 事業概要

※H30年度  
事業費<100千円>

#### ○事業目的

健康づくりへの動機付けを促進する環境整備、健康に配慮した生活習慣を身に付けるきっかけ作りを行うことで、健康づくりへの無関心層を掘り起こし、各種健康診断、がん検診等の受診率向上などに繋げ、健康寿命の延伸及び地域における健康格差の縮小を実現すること。

また、本事業は、平成30年度より本格実施となる保険者努力支援制度の「個人へのインセンティブ提供」に該当するものであり、中川町の健診結果において、血圧高値者が受診者の約半数という多い現状から、平成30年度は「減塩」をテーマとして実施しました。

#### ○取組の特徴

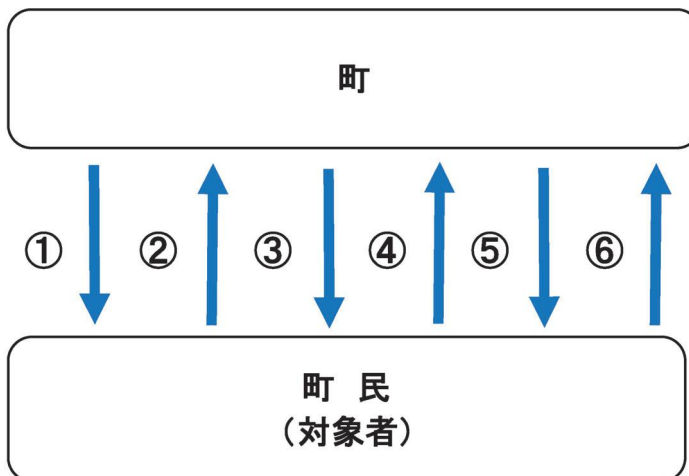
町の健診・がん検診を受診した方に、受診した健診等に応じてポイントを付与し、ポイント数に応じた減塩食品と交換する。当日の健診会場では、減塩調味料の減塩効果、現在販売されている減塩食品の紹介、手軽に減塩につながる減塩食品、調味料、菓子類などの試食、資料の配布、アンケート調査などを実施しました。



事業の対象 ○町内に住所を有する20歳以上の方

### 中川町健康ポイント事業実施の流れ

事業イメージ



- ①健診受診票発送時にポイント事業の案内を同封
- ②町実施の健診（検診）受診
- ③受診内容に応じてポイントを付与したカードを交付
- ④ポイント数に応じて好きな特典と交換
- ⑤検診結果説明会の案内文に減塩商品に関するアンケート用紙を同封
- ⑥健診結果説明会当日にアンケート用紙を提出（回収）

## 事業の特色

### 事業アイデア

- 健診受診によって、手軽に特典がもらえる。
- 町内で購入できる商品を交換商品とする。
- 減塩食品に関するアンケート調査結果を住民、町内商店に周知し、減塩への関心を増加と商店での減塩商品の販売継続につなげる。

### 事業の実績等

- 別紙「中川町健康ポイント事業」参照のこと

### 事業効果等

- 別紙「中川町健康ポイント事業」参照のこと

### 特典の内容

- 合計6ポイント以上：減塩めんつゆ
- 合計4ポイント：減塩醤油（200ml）・減塩中濃ソース（180ml）・（1つ選択） 減塩ケチャップ（275ml）・減塩昆布ポン酢（360ml）
- 合計1ポイント：減塩ハッピーターン（小1袋）・減塩柿の種（小1袋）・（1つ選択） タニタ監修せんべい（小1袋）

※ポイント内であれば組み合わせは自由。



### ここがポイント！

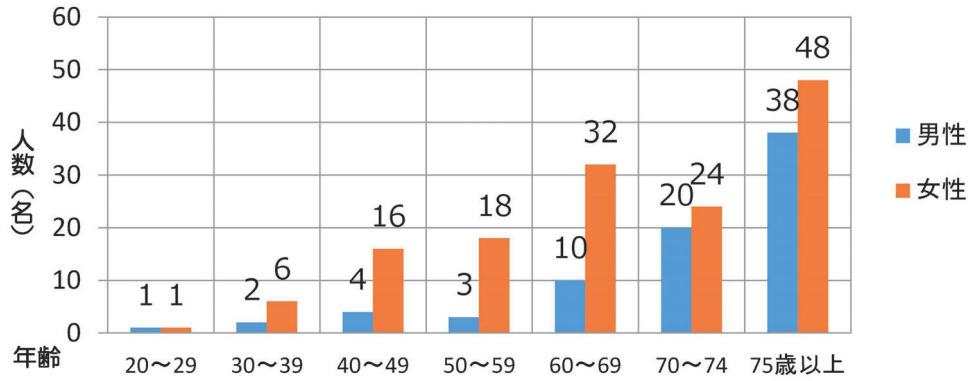
○減塩食品の試食等を通して、現在の減塩食品のおいしさや手軽に減塩できることを確認し、減塩への関心を高めることを目標とし実施しました。

また、事業実施により、町内の商店で購入できる減塩商品数が増加しました。

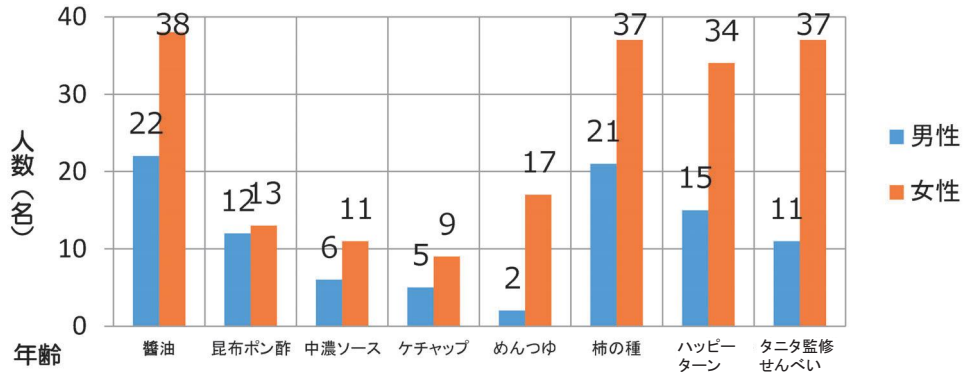
# 別紙 中川町健康ポイント事業

事業の実績等

○アンケート回収数：224枚（男性78名／女性145名 ※性別不明1名）



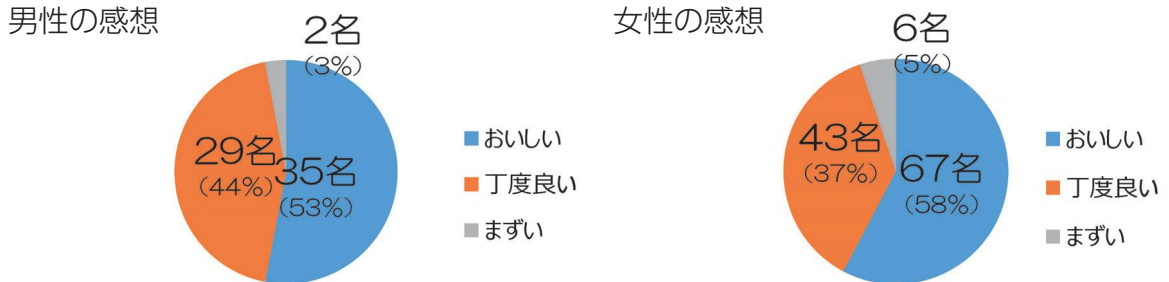
○ポイントと交換した減塩商品の内訳（アンケート調査結果より）



○特典は、よく家庭で使用する醤油を選択する方が多く、普段使う頻度の少ないソースやケチャップを選択する人は少ない結果。

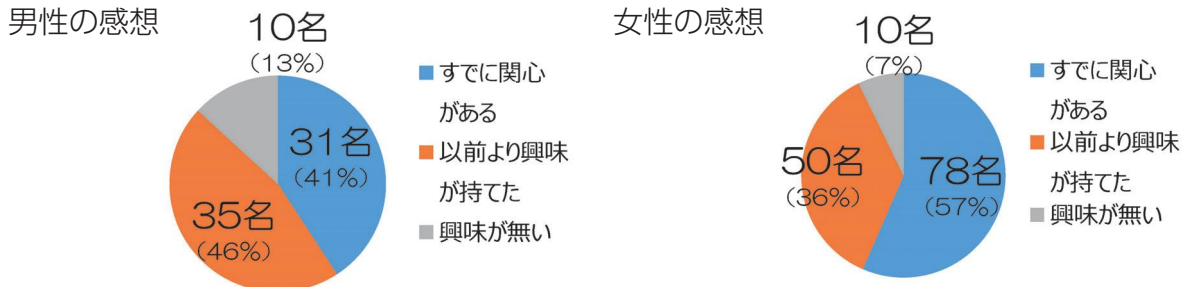
○減塩食品への味の評価（アンケート調査結果より）

・男女ともに9割以上が丁度良いかおいしいという感想



○減塩商品への関心度の評価（アンケート調査結果より）

・今回の機会によって関心を持たれた方が増加し、9割程度の方が関心を持っている結果。



事業効果等

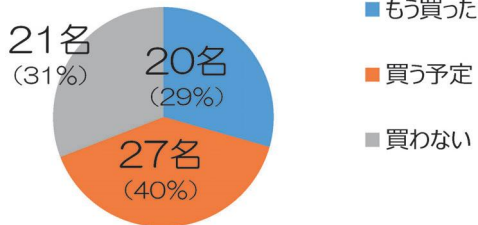
## 別紙 中川町健康ポイント事業

事業効果等

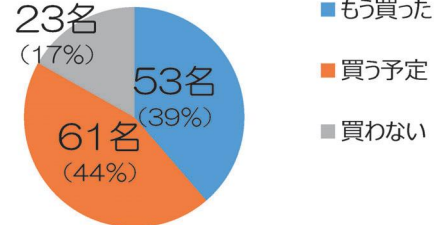
○今後、減塩商品を購入するか？（アンケート調査結果より）

・以前よりも興味を持たれた割合と同様に4割程度の方が買う予定という結果。

男性の感想



女性の感想



○町内商店で販売する減塩食品の増加

・今回の事業の実施にあたり、事前に町内商店に対して事業の説明を行い、交換商品となる減塩食品の発注、事業実施後、店舗での減塩食品の継続販売を依頼。

事業の対象補足

※生活保護受給者及び職場健診として町の検診（検診）を受診する方は事業の対象外。

※国民健康保険加入の方は、下記の内容を人間ドックで受けた場合も対象。

[特定健診・健診（39歳以下/後期高齢者）・胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・子宮頸部がん検診・乳がん検診]

期間：平成30年7月24日～平成31年2月28日まで



民間企業と連携し実施している事例

# 事例集

## 自治体名：東神楽町

事業名称 健康食育タウン事業 H28年度～（健幸ポイント制度：H29年度～）

### 事業概要

※H30年度  
事業費<2,549千円>

#### ○事業の概要

町では平成28年度から、東神楽町食育推進計画及び健康ひがしかぐら21（第2次）の目標達成を目指し、町民一人ひとりのからだを見える化することで、生活習慣改善等の行動変容を促進し、主体的な行動を促すことで健康格差（疾病・早世）の縮小、健康寿命の延伸、医療費の適正化につなげる事業を進めてきた。

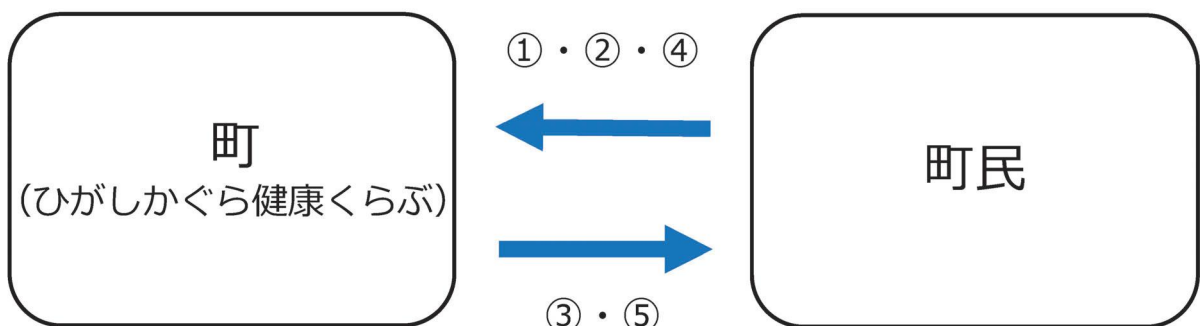
その中で、町民一人ひとりが目標を持つことにより健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を推進することを目的として、平成29年度からインセンティブを提供する健幸ポイント制度を創設し、「健康づくりに取り組むと、お得に健康になれる！」というメッセージを発信しながら、がんばる人のモチベーションを高めること、そして健康無関心層へのアプローチに着手した。

事業の対象 ○町民もしくは町内在勤の方（ただし18歳未満の方は保護者の同意が必要）

### 健康食育タウン事業（健幸ポイント制度）実施の流れ

- ① ひがしかぐら健康くらぶに入会
- ② 「ウォーキング」「健康づくり事業の参加」などの実施
- ③ ポイント付与
- ④ 賞品を申請
- ⑤ 賞品を交付（3,000ポイント以上を獲得した方は、ポイント数に応じて町の特産品等も交付）

事業イメージ①





## 事業の特色

### ○健康ポイント制度の付与ポイント

健幸ポイントは主体的な健康づくりを支援する観点から、年会費1,000円のひがしかぐら健康くらぶに入会し、会員証代わりに貸与する活動量計を持ち「ウォーキング」、「血圧・体組成測定」、「健康づくり事業への参加」など（下記参照）でポイントを付与。2,000ポイント貯めた方に対して町内で利用できる「ゴミ処理券」、「温泉入浴券」、「商工会商品券」のいずれかをプレゼント、もしくは「町内図書館への健康づくりに関する書籍を寄付」のどちらかを選択できるようにしている。

さらに、年度末に3,000ポイント以上保有している方には、ポイント数に応じて町の特産品等も交付している。

NO	項目	取得方法	付与ポイント
1	ひがしかぐら健康くらぶ入会ポイント	自動付与	300P
2	ひがしかぐら健康くらぶ継続入会ポイント	自動付与	300P
3	健康診断受診ポイント	健診結果の提示	500P
4	ウォーキングポイント（1日8,000歩以上）	自動付与	10P
5	測定ポイント（体組成、血圧ともに月最大4回まで）	自動付与	10P
6	健康づくり事業等参加ポイント	活動量計の提示	50P～
7	ボーナスポイント	活動量計の提示	300P～
8	会員紹介ポイント（新会員・紹介者、双方に）	事務局で付与	50P

事業イメージ②

### ○健康食育タウン事業

（株）タニタと連携し『はかる』からはじめるタニタ式の健康づくりを実践。ひがしかぐら健康くらぶの会員にタニタ活動量計を渡し、1日の歩数や1日の総消費カロリーなどを計測。町内5か所にある計測スポット『健康の駅』に設置している体組成計や血圧計で体の変化を計測し、活動量計内のデータをタニタに送信することで、パソコンやスマートフォンなどで活動量や体の変化を確認することができる。

また、会員の健康づくりを促進するため、町民の健康づくりをリードしていく「健康食育コンシェルジュ」を養成し、コンシェルジュ主催の運動教室や料理教室なども実施している。

事業アイデア①

## 事業の特色

### 事業アイデア②

#### ○健幸ポイント事業

健康づくり事業の主管課は健康ふくし課であるが、事業の推進にあたっては健康ふくし課だけではなく、庁内の事業系を中心とした部署で構成されるプロジェクトチームが設置されており、庁内で横断的な連携をしながら事業を推進している。

なお、健幸ポイント制度もこのプロジェクトチームからの発案で実現した事業。

### 事業の実績等

#### ○ひがしかぐら健康くらぶ会員数

平成28年度：297名

平成29年度：310名

平成30年度：365名

### 事業効果等

○健康づくりへの無関心層を掘り起こす（特に働き盛りの若い世代）。

○町民の生活習慣病予防及び重症化予防。

○健康格差（疾病・早世）の縮小、健康寿命の延伸、医療費の適正化につなげる。

### 特典の内容

○町内で利用できるゴミ処理券、温泉入浴券、商工会商品券。  
(2,000ポイント到達時)

○町特産品、町内飲食店利用券、タニタ賞品など。  
(年度末に3,000以上保有)

例：東神楽産米・JA小麦薫るラーメン・飲食店ランチ券・タニタ食堂  
特性茶碗など。

※寄付コースの選択も可：町図書館内「健康くらぶ文庫」の書籍購入。

### ここがポイント！

○通年で健康づくりを取り組めるようポイントの付与を二段階に設定した（2,000ポイント到達で景品獲得、3,000ポイント以上獲得で年度末にプレゼント。）。

※いずれも申請の必要あり

# 北海道健康マイレージ事業について

北海道健康マイレージ事業について

# 北海道健康マイレージ事業について

## ■自治体名：北海道

事業名称 北海道健康マイレージ事業（H28年度開始）

### 事業概要

※H30年度  
事業費<989千円>

#### ○事業目的

健康づくりへの動機付けを促進する環境整備、健康に配慮した生活習慣を身に付けるきっかけ作りを行うことで、健康づくりへの無関心層を掘り起こし、各種健康診断・がん検診等の受診率向上などに繋げ、健康寿命の延伸及び地域における健康格差の縮小を実現すること。

同事業は、「被保険者の自助努力についての支援」に該当するものであり保険者の努力義務とされているが、事前調査において、「効果的な実施方法の確立」や「マンパワーの確保」を事業課題として上げる市町村が多数あったことから、道が事業を牽引することで、市町村の負担軽減・課題解決を図ることを目的に、平成28年度より開始した。

#### ○取組の特長

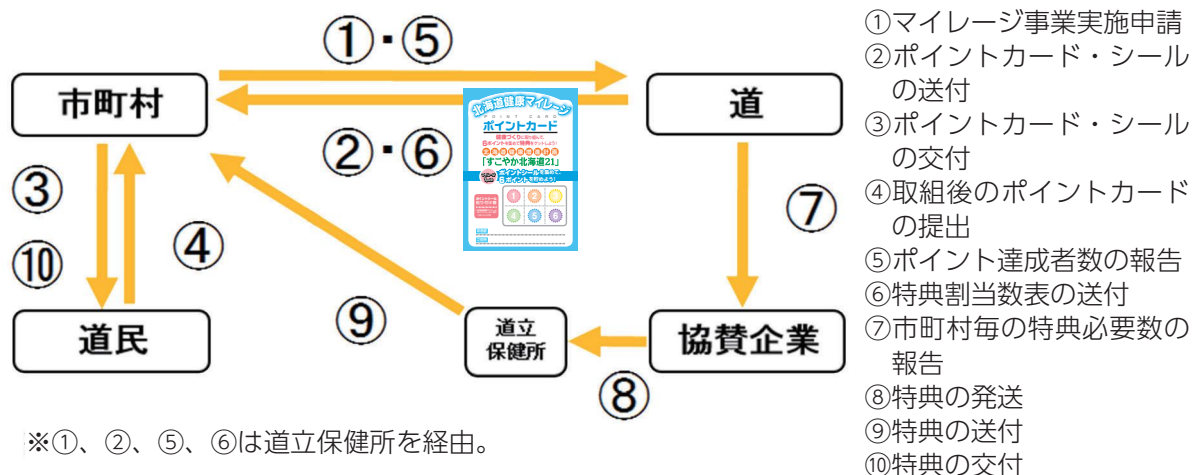
道民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援する観点から、特定健診・保健指導、がん検診、健康づくり教室等々に参加した場合にポイントを付与し、6ポイント貯めた方に対して、※特典品を交付。

※事業の趣旨にご賛同いただいたご協賛企業よりご提供いただく。

事業の対象 道内に住所を有する20歳以上の者

### 北海道健康マイレージ事業実施の流れ

事業イメージ



## 事業の特色

### 事業アイデア

- 道、実施市町村及びご協賛企業の協働事業として実施。
- 道は対象地域が広域であり、地域の実情も様々であることから、どの地域の住民が取り組んだとしても手に入る特典を用意。  
他県等で採用している優待カード制度ではなく、一定の健康づくりを行った住民に対し、協賛企業から提供を受けた特典を交付している。

### 事業の実績等

- ポイント達成者数（事業参加者数＝ポイントカード交付数）  
平成28年度 3,136人（6,481人）  
平成29年度 8,230人（21,494人）
- 協賛企業数16社（平成29年度）
- 54市町村が事業に参加（平成30年度）。

### 事業効果等

- 健康づくりへの無関心層を掘り起こす。
  - 道民一人ひとりが健康に配慮した生活習慣を身につけるきっかけ作り。
  - 各種健康診断・がん検診等の受診率向上、肥満者の減少、運動習慣者の増加。
  - 道が事業を牽引することで、市町村の負担軽減・課題解決を図る。
- ※道事業参加市町村数
- |        |       |        |       |
|--------|-------|--------|-------|
| 平成28年度 | 37市町村 | 平成29年度 | 48市町村 |
| 平成30年度 | 54市町村 |        |       |

### 特典の内容

ご協賛企業から提供を受けた食品やクーポン券等  
(例：大塚製薬株式会社「SOYJOY」や株式会社セコマ「Secoma病院の管理栄養士が作った血圧が気になる方のための健康カレー（レトルト）」、中北薬品「活命茶」「ナイスメイト（ハンドクリーム）」（敬称略）など）

### ここがポイント！

どの地域の住民が取り組んだとしても手に入る特典を用意した。

